

指導救命士部会による M C 体制の底上げ

埼玉県メディカルコントロール協議会
指導救命士部会

(事務局：埼玉県危機管理防災部消防防災課)

令和元年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）

「我らの地域のメディカルコントロール取組事例発表

“指導救命士の活躍～事後検証と再教育～”

令和2年1月31日 仙台国際センター会議棟



彩の国
埼玉県

- 部会設置の経緯
- 開催状況
- 主な実績
- 現在の取組
- 今後の展望
- 結語



救急出動件数360,945件
搬送人員314,016件
重症以上傷病者搬送事案
照会回数4回以上割合 3.9%
現場滞在時間30分以上13.4%

部会設置の経緯



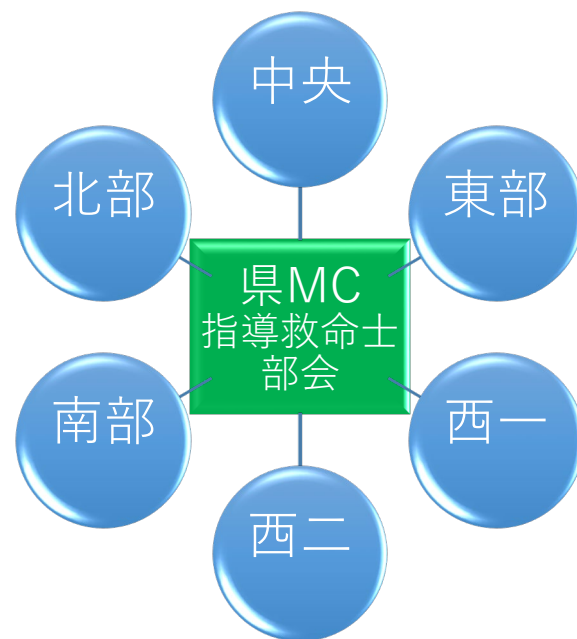
H28

- ・ 指導救命士制度検討WG
- ・ 検討アンケート実施

H29

- ・ 指導救命士制度導入
- ・ 指導救命士部会設置

救急隊員を指導する幹となる教育体制の構築や救急業務に対する施策立案及び検討等を行う場



開催状況



① H 2 9 第 1 回

- ・ プロトコール研修会、事後検証等について、ガイドラインの作成を検討

② H 2 9 第 2 回

- ・ 事務局で作成した素案等を提案、検討

③ H 3 0 第 1 回

- ・ 事務局が素案を再提案。部会内にワーキンググループを設置、素案検討

④ H 3 0 第 2 回

- ・ プロトコール研修会実施ガイドライン、事後検証ガイドラインについて、ワーキンググループから再提案、検討 → 県MC協議会で承認

⑤ H 3 0 第 3 回

- ・ 病院実習（再教育）ガイドラインについて検討 → 県MC協議会で承認

⑥ R 1 第 1 回

- ・ 学会発表、救命講習、救急隊員の他消防本部での救急車同乗実習フィードバック、ガイドラインのフォローアップについて検討

⑦ R 1 第 2 回

- ・ 第 1 回から継続して検討した結果、方針を明示

⑧ R 1 第 3 回

※年度内に開催予定

主な実績



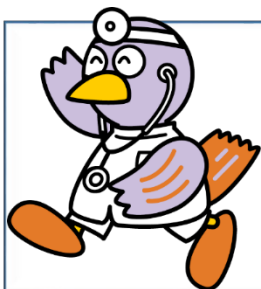
指導救命士が指導する際の最低限かつ一定水準の
質が保証された統一的な指導指針等の策定が必要



プロトコール研修会
プロトコールの徹底



事後検証
安定した検証効果



病院実習
一定レベルの実習

ガイドライン作成

埼玉県
救急救命士病院実習（再教育）ガイドライン

埼玉県事後検証ガイドライン

埼玉県プロトコール研修会ガイドライン

埼玉県メディカルコントロール協議会
平成31年1月1日

県下で一定の
質が担保された
救急行政
サービス提供へ

現在の取組



ガイドラインの
フォローアップ



救急隊員の
他消防本部
同乗実習の
フィードバック



救命講習の
あり方



学会発表の
支援





**部会のリーダーシップ発揮
救急業務の質の更なる向上**

- ◆ 具体的教育指導内容を検討する場を設けることで指導救命士の高度な知見の共有が図られ、MC体制の底上げに寄与
- ◆ 部会の取組により救急隊員のレベルアップに加え部会員をはじめとした指導救命士自身のブラッシュアップにも貢献
- ◆ すぐに方向性の出せる内容を検討しているわけではなく、模索しながらの取組であるため、引き続き研鑽
- ◆ 増えつつある指導救命士の活躍の場として会議体を設置することは全国的にも取組可能

御清聴ありがとうございました。